



育成だより

第 11 号

平成7年3月31日
貝塚中学校区
青少年育成委員会

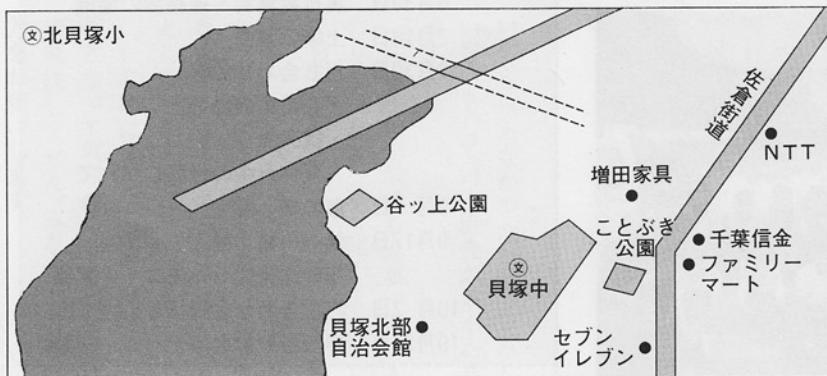
貝塚中学校通学路 の安全確保

貝塚中学校区育成委員会会長

田中 信夫

この事は、国道五一号千葉北バイパスの開通に伴つて生徒の通学路が（現在二本）遮断されてしまつたので、安全に横断出来る為に、バイパスに平行して取付け道路の建設が急務と考えました。平成元年から地域・学校が一体になつて努力を続けて参りました、私共、育成委員会はその先頭に立つて、千葉北バイパス対策協議会を設置して、市当局、若葉区役所、若葉区自治会連絡協議会へと要望を続けて参ります。

通学路安全確保が最優先であり、この考えを基本にして、今後も関係の方々と相談して参ります。



少年による花と緑 広める環境美化活動

本事業は、最近の少年非行及び少年を取り巻く環境が憂慮すべき状況にあることから、少年に地域の人々や少年相互の触れ合いを体験させるとともに、地域に対する奉仕の精神を養わせ、社会の一員としての自覚や努力することの大切さを学ばせることにより、規範意識を向上させ、もってその健全育成を目的とするもので、警察署を単位とした推進地区が全国二五ヶ所に設定され、都道府県少年補導員協議会活動として実施されるものです。

昨年は、千葉東警察署が「少年を守る環境浄化地区」の設定署に指定され、また都賀駅周辺が「環境浄化重点地区」ということから貝塚中学校区が選定されました。計画・実施につきましては、関係機関・学校・地域が一体となつて行われました。

貝塚中学校では、今回のようなボランティア活動(社会参加活動)を有意義なものととらえ、今後も今回整備された花壇を利用し、このような活動を積極的に実施して行きたいと考えています。



参加人員	
貝塚中学校生徒	39名
千葉東署少年補導員連絡会	延べ 6名
少年を守る環境浄化重点地区推進委員会	延べ 8名
学校関係者	延べ 8名
P T A 関係者	延べ 4名
町内会関係者	延べ 4名
警察署	9名

実施経過

平成6年 6月17日	実施計画の策定
6月30日	実行委員会・連絡会の開催
7月18日	土壌の整備
7月30日	打ち合わせ会議 ・花の苗の種類選定 ・購入先 ・夏休み中の世話について
9月 1日	苗の植え替え
9月17日	鉢への植え替え 花の贈呈式セレモニーの実施
10月 7日	打ち合わせ会議(反省と今後の対応)
10月31日	参加者慰労会(グランドゴルフの実施)

いじめへの対応を考える



千葉市立貞塚中学校
生徒指導主任
廣澤 文彦

昨秋、愛知県西尾市の中学二年生、大河内君がいじめを苦にして自殺した事件を機に再びいじめがクローズアップされてきました。八年前の鹿川君事件の教訓は何だったのだろうかという思いがします。

「いじめ」については「強い立場にある人が単独または複数で、弱い立場にある特定の人またはグループに対し、言葉による冷やかしや脅し、嫌がらせ、無視や仲間はずれたりや暴力などの圧迫や攻撃を繰り返し行い、精神的・身体的に苦痛を与える行為」と定義され、売り手と買い手との関係において成立する「けんか」などとは区別されています。最近の「いじめ」の特徴は行為が攻撃的で陰湿であること、功妙化していること、「いじめ」の長期化していること、「いじめ」の行為を「いじめられる側も悪いから」と正当化すること、ゲームや遊びなどに偽装するいじめが多いこと、などがあげられます。また、大人の側でも「悪ふざけ」や「子供のけんか」などと軽く見てしまいがちです。特に、加害者側は加害者の

生徒の言い分を鵜呑みにしがちであるし、中には逆に被害者側に責任を転嫁することさえもあります。

本校でも、いじめが全くない訳ではありません。ただ職員の対応により大きな問題に発展していなだけです。そこで、本校では指導体制を見直すとともに再確認を行いました。

「いじめ」についての対応は、早期に発見するのが最良の方法といわれています。そのためには、我々教師は生徒と接する時間をより多く持ち、生徒に関する情報の収集・交換・共通理解を常に行い、生徒の変化に注意することが大切です。また、家庭との連絡を密に取り、学校と家庭との情報交換にも努めなければなりません。家庭だけでなく、地域の方からの情報も大変重要ですので、ご協力をお願ひしたいと思います。

また、普段の学校生活の中では、「いじめ」の持つ意味を生徒たちに十分理解させ、「いじめをなくそう」という学級の雰囲気づくりに常に努めなければならないと考えています。

いじめを含め、子どもの言動は大人社会の反映とも言えます。我々大人が社会全体についてもつと考えていかなければならぬでしょう。

いじめについて思うこと



千葉市立貞塚小学校
生徒指導主任
吉野 椎久

数年前に、「アメリカインディアンの教え」という本が話題になりました。子育てのあり方の言い伝えと言えましょうか。その内容をおおまかにまとめると「子供は、周りの人間にされたのと同じように、他の人に対して行動する。」と言えそうです。

年近い兄弟姉妹が親の愛

お互い尊重し合おう



千葉市立桜木小学校
生徒指導主任
平田 さよ子

桜木小でも、残念ながらいじめがないわけではありません。他のう」という学級の雰囲気づくりに常に努めなければならないと考えています。

桜木小の全職員も児童一人一人の心をつかみ、話を聞くようにしております。児童と一日一回は話をす

るようにしています。また、他の人の良いところを認め合い、互いに尊重し合うクラスを作っています。

いじめは、学校、家庭、地域が一帯となつて取り組んでいかなければ解決しません。みなさんのご協力ををお願いします。

情をめぐり、ねたみの気持ちを行動に示すことがあります。生来、人にはいじめにつながる心があるのかもしれません。

しかし、子供は行動の仕方を学習します。インディアンの教えに従えば、いじめを防ぐには、まず身近な親や教師が、子供一人一人をかけがえのない存在として温かく受け入れることやできるできないで区別(差別)せず努力を認めることが大切なのではないでしょうか。そんなことを思いつつ児童の指導に当っています。

レクリエーション部会

希望に満ち活気溢れる年になる
筈の一九九七年、ことあろうに
年明け早々未會有の大震災に見舞
れ多勢の方々が被害を受けました。
ご冥福を祈りたいと思います。

さて私達レクリエーション部会

は十名で構成され会員相互の「和」
作りを最大の目的とし発展を目指
して頑張っています。会員の皆様
に喜んで載きたい一心で度重なる
会合を開き無い知恵をしぶり、あ
る情熱を出しきて部員一同、一
丸となつて協力し合い助け合いな
がら行事活動に取り組みました。

環境対策部会

不良環境の排除と善良な環境の
推持を目標に本年もパトロールを行つて参りましたが、ピンクビラ
有害図書は減少しました。
パトロールに当つては毎年問題
点と対策を考えその対応と指導を行つておりますがゲームセンター
やたまり場などでは喫煙が行なわれていたり、商店での万引による被害も有る様です。

(加山貞子)



泊二日の研修旅行を企画し、又明けて一月にはリバーレーンに於てボーリング大会も開催致しました。共に多勢の皆様方のご参加協力を賜り、部員一同心より感謝しています。今後共宣しくお願ひ致します。

(村井 博)

非行対策部会

非行の防止は大人の責任であり、私達に果せられた大事な任務であることを会員一同理解認識しました。次の活動を実施いたしました。

(一)「子どもたちを非行から守る映画と講演の集い」八月十八日コミニティセンターにて千葉東警察署茂手木防犯部長の講演と

福祉部会

青少年の健全育成活動には地域

のより多くの人々の参加と支援が大切であると考えられます。福祉部会では、各地域の民生児童委員の方々と連携を保ち協力を願いながら、次のような活動をしました。

(一)夏休み各地区で行われる盆踊り会場周辺の巡回活動を実施。

(二)夏期及び年末に行われる、要保護世帯への慰問活動に併せ、状況の把握と生徒への励ましを実施しました。

(三)年間を通して各地の民生児童委員の方に、要保護世帯(母子家庭等)の実状に即した支援を

松崎防犯係長によるシンナー防止映画が上映され大変有意義でした。ご参加の皆様誠にありがとうございました。

(二)夏休みに納涼祭は各地区に分かれ実施され地区ごとに見廻りました。又ゲームセンターカラオケパチンコ店公園のパトロールを夏休みに行いましたが特に問題箇所はありませんでした。

(梶原顯五郎)



平成6年11月 高原千葉村にて

第八回
サマー・キャンプに
思う

今年のキャンプ場は、昨年中に既に申し込んである国立那須甲子のロッジである。環境等子供達を連れて行くには申し分のない所だ。

是非ともキャンプが成功する様に役員一同打合せを重ね、申込当日を迎えた。しかしここまでやつたのにがっかりする一瞬が来る。募集人員不足だ、どうするか迷うが申し込んでくれた子供達の気持ちを考えキャンプを行うことに決める。この時期、子供達も色々な活動があり忙しいと思う。キャンプの時期等色々な面で考え方直すことも必要かと思う。

今年のキャンプは特に晴天に恵まれ、ハイキング・ゲーム等とても楽しい時間を持てた。子供達の笑顔に会えてまた次のキャンプに向けての活力が湧いてきた。

(戸村一美)



あとがき

「さそり座は「心」の鏡文字」

問山先生講演記録より

「鏡育」

……私の言いたいことはですね。親は感情的にならず、破壊的にならず、常に冷静で素直で謙虚であつてほしい。

そして、いつも親は、教師も含めてね。自分の心を鏡に映しながら育てる。この「鏡育」だと私は思います。……略

「響育」

……今、わが国は心の教育ということが重視されております。それは、人間として最も大切な指導です。親と子・教師と子供・子供と子供の心の響き合いを育てる。この教育「響育」が現在の日本の教育には必要である。……略

育成だよりは活動をうつし出す鏡である。と自負して編集しました。皆様のご協力を感謝致します。

(広報部)